

注 文 書

工 事 番 号 2026000813
工 事 名 岩出山下野目住宅改修工事
施 工 箇 所 大崎市岩出山下野目字新小泉 117 番地
工 事 期 限 令和 8 年 11 月 13 日

添 付 書 類

1. 特 記 仕 様 書
2. 図 面
3. 参 考 内 訳 書

特 記 仕 様 書

第 1 章 総 則

1. 本工事は設計図書によるほか、工事に関する市の規則等に基づき施工し、さらに施工にあたっては工事箇所及び周辺にある既存の施設、地上地下の工作物に対し支障を及ぼさないよう事前に占有又は所有者の立会いを得て施工に万全を期するとともに、もし損害を与えた場合、請負者の責任において処置しなければならない。

第 2 章 材 料

1. 工事材料の規格並びに材質は設計図書に明示されたものとする。
2. 生コンクリートについては、「宮城県生コンクリート品質管理監査会議」が交付する「品質管理監査合格証」を有する工場の製品、又は同等以上の品質管理を行っていることが認められる工場の製品を使用すること。

第 3 章 建設副産物処理

1. 本工事において発生する建設副産物については、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき適正に処理するものとする。
2. 屋外及び敷地周辺の跡片付け及びこれに伴う屋外発生材処分等に要する費用は本工事に含まれているので、適正に処理すること。
3. 当該工事受注後は、速やかに施工計画書（再生資源利用計画書、再生資源利用促進計画書、及び建設廃棄物処理計画書を含む。）を作成し、提出するものとする。
4. 建設副産物を処理した後は、速やかに建設副産物処理結果報告書に処理状況を確認できる写真及び建設廃棄物処理に係るマニフェストを提出するものとする。なお、建設副産物処理に要する費用については、マニフェストの数量により精算するものとする。

第4章 そ の 他

1. 本工事に着手する前に、必要であれば関係官庁との協議を行い、第三者へ支障のないように努めること。
2. 本工事場所は付近に公共施設等があることから、工事に際しては事故等が発生しないよう細心の注意を払って施工すること。
3. 本工事場所は住宅であることから、施行にあたっては、居住者の生活環境に十分配慮し、騒音・振動・粉塵の低減に努めること。
4. 本工事における下請負、資材調達、大崎市内の企業を活用することを原則とする。また、発注者が指定した主要資材については、工事完了時に主要資材市内調達調書を提出すること。

5. 暴力団等の排除について

- (1) この契約の履行期間中に大崎市入札契約暴力団排除措置規則（平成25年6月1日施行。以下「排除規則」という。）の措置要件に該当すると認められたときは、契約を解除することがある。
- (2) 本市から指名停止の措置を受けている者にこの契約の全部又は一部を下請けさせ、若しくは受託させてはならない。また、この契約の下請け若しくは受託をさせた者が、排除規則の措置要件に該当すると認められるときは、当該下請契約等の解除を求めることがある。
- (3) この契約の履行にあたり暴力団員又は暴力団関係者等（以下「暴力団員等」という。）から不当要求又は妨害を受けたときは、速やかに警察への通報を行い、捜査上必要な協力を行うとともに、発注者へ報告すること。また、この契約の下請負若しくは受託をさせた者が、暴力団員等から不当要求又は妨害を受けたときは、同様の措置を行うよう指導すること。

なお、暴力団員等から不当要求又は妨害を受け、適切に警察への通報、捜査協力及び発注者への報告が行われた場合で、これにより、履行遅延等が発生すると認められるときは、必要に応じて、工程の調整又は履行期限の延長等の措置を講じる。

5. 週休2日工事の適用について

- (1) 本工事は、週休2日工事【発注者指定型（現場閉所型・~~交替制型~~）】の対象である。

当初積算時は補正係数なしで積算しており、工事着手前に「通期」，「月単位」，「完全週休2日」のいずれに取り組むか協議するものとする。受注者が、協議に基づき，「月単位」又は「完全週休2日」に取り組み，達成した場合は，設計変更時に達成した区分に応じた経費補正を行うこととする。

- (2) 受注者は、週休2日工事の現場施工に着手した日（準備期間を含まない）から現場施工が完了した日（後片付け期間は含まない）まで（以下「対象期間」という。）を通して4週間につき8日以上 of 休工日を確保するものとし、施工計画書の法定休日・所定休日の事項において当該工

- 事が週休 2 日に取り組む旨を明示すること。（明示方法は任意とする。）
- (3) 受注者は、建設業の働き方改革を推進する観点から、土日・祝日を休工日とするよう努めるものとする。
- (4) 分離発注の場合は、各受注者で協力し、工事の進捗に影響が出ないよう現場休息の予定日を調整すること。工事着手後に、工程計画の見直し等が生じた場合には、その都度、受注者間で調整した「実施工程表」等を提出すること。
- (5) 週休 2 日工事の対象期間には、年末年始 6 日間、夏季休暇 3 日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間のほか、発注者があらかじめ対象外としている内容に該当する期間、受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間などは含まない。
- (6) 天候等による現場閉所は休工日として認めるものとする。
- なお、災害時の緊急要請などによる現場作業が発生した場合や異常気象による作業不稼働日が多く発生した場合等における休工日や対象期間の取り扱いについては、工期の変更が伴うこともあることから、受発注者間の協議により決定するものとし、臨機に対応することとする。
- (7) 受注者（下請負人を含む現場の全ての労働者等を含む）は、休工日に事務作業や他現場での作業を行わないことを原則とする。
- (8) 受注者が現場閉所型から交替制型への変更を希望する場合には、発注者に協議するものとし、発注者は対象期間に入る前に限り、受発注者間の協議により変更を認めることができるものとする。
- (9) 受注者は、対象期間の開始日から 28 日毎に、休日等の取得の実績が確認できる休日等取得実績書を作成し、発注者へ提出するものとする。
- (10) 週休 2 日工事については大崎市週休 2 日工事実施要綱に基づき行うこと。

※【準備期間】

施工に先立って行う、労務、資機材の調達、調査、測量、設計照査、現場事務所の設置等の期間であり、工事の始期から直接工事費に計上されている種別・細別について工事着手するまでの期間をいう。

※【後片付け期間】

施工終了後の自主検査、後片付け、清掃等の期間をいう。

6. 猛暑による作業不能日数

本工事は、猛暑による作業不能日数を次のとおり見込んでいる。

- ・作業不能日数：2 日間
- ・上記は、環境省が公表する宮城県一古川地点（以下「観測地点」という。）における WBGT 値（気温、湿度、日射・輻射を考慮した暑さ指数）過去 5 年分（令和 3 年から令和 7 年まで）について、本工事の工期に対応する期間（行政期間の休日に関する法律（昭和 63 年法律第 91 号）に定める行政機関の休日及び夏季休暇（3 日）を除く。）において、8 時から 17 時の

間に WBGT 値が 31 以上となった時間を算定し、日数に換算したものの 5 年分を平均したもの。

- ・ 気象状況により工期中に発生した猛暑による作業不能日数（当該現場における定時の現場作業時間において、環境省が公表する観測地点における WBGT 値が 31 以上となり、かつ受注者が契約工事単位で全作業を中断し、又は現場を閉所した時間を算定し、日数に換算したもの（小数点以下第一位を四捨五入する。））が上記の日数から著しく乖離した場合には、受注者は発注者へ工期の延長変更を協議することができる。

7. 工事請負契約締結後における設計単価の変更について

本工事は、当初工事請負契約締結後において、受注者は発注者へ契約日の翌々月同日を基準日とする設計単価変更の協議を請求することができる。

なお、設計変更の対象は、資材単価・労務単価及び機械単価等の設計単価とする。

工事名称	岩出山下野目住宅改修工事
工事場所	大崎市岩出山下野目字新小泉117番地

[illegible]

[illegible]

4号棟

[illegible]

[illegible]

[illegible]

発生材処分

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

岩出山下野目住宅改修工事

図面番号	図面名称
建 築	
A－01	建築工事改修特記仕様書（1）
A－02	建築工事改修特記仕様書（2）
A－03	建築工事改修特記仕様書（3）
A－04	建築工事改修特記仕様書（4）
A－05	建築工事改修特記仕様書（5）
A－06	建築工事改修特記仕様書（6）
A－07	建築工事改修特記仕様書（7）
A－08	建築工事改修特記仕様書（8）
A－09	建築工事改修特記仕様書（9）
A－10	建築工事改修特記仕様書（10）
A－11	付近見取り図 配置図
A－12	戸建て住宅平面図
A－13	戸建て住宅立面図 断面図
A－14	戸建て住宅仕上げ表 求積図
A－15	戸建て住宅建具表
A－16	改修仕上げ表

[illegible]

[illegible]

5 建具 改修 工事	5. アルミニウム製建具	性能値等 耐風圧性の等級（ ） （建具符号：・建具表による ） 気密性の等級（ ） （建具符号：・建具表による ） 水密性の等級（ ） （建具符号：・建具表による ） 外部に面する建具の種類 ・A種（建具符号：・建具表による ） ・B種（建具符号：・建具表による ） ・C種（建具符号：・建具表による ） 枠の見込み寸法 （・建具表による ） 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（ ） （建具符号：・建具表による ） 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級（ ） （建具符号：・建具表による ） 材料 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ・ ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・ 形状及び仕上げ 表面処理 外部に面する建具 種類 ※BB-1 ・BB-2 （改修標準仕様書表5.2.2） 着色 ・標準色 ・特注色 屋内の建具 種類 ※BC-1 ・BC-2 （改修標準仕様書表5.2.2） 着色 ・標準色 ・特注色 結露水の処理方法 ・水貯め式 ・排水式 工法 水切り板、ぜん板 ※図示による	<5.2.2～5><表 5.2.2>	9. 鋼製軽量建具	材料 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ・ ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・ 形状及び仕上げ 鋼板類の厚さ ※改修標準仕様書表5.4.2による mm 使用箇所（ ） 標準型鋼製建具の形式及び寸法 ※建具表による	性能値等 簡易気密型ドアセット ※適用する （建具符号：・建具表による ） ・適用しない 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（ ） （建具符号：・建具表による ） 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級（ ） （建具符号：・建具表による ） 材料 鋼板 ・亜鉛めっき鋼板 ・ビニル被覆鋼板 ・カラー鋼板 ・ステンレス鋼板 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ・ 召合わせ、縦小口包み板の性質 ※鋼板 ・ ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・ 形状及び仕上げ 鋼板類の厚さ ※改修標準仕様書表5.5.1による mm 使用箇所（ ） 標準型鋼製軽量建具の形式及び寸法 ※建具表による	<5.2.2><5.5.2～4>	12. 建具用金物	・特殊加工 化粧合板 ・ 化粧加工の方法 ※ブリント ・ポリエステル化粧合板 ・メラミン化粧合板 ・ 接着の程度（・1類 ・2類） ・MDF ・ 表面板の厚さ ※改修標準仕様書表5.7.6による ・ 引戸の召合せかまちのいんろう付きの適用 ・適用しない ・適用する ・かまち戸 かまち樹種（ ） 鏡板樹種（ ） 見込み寸法 ※36mm ・建具表による ・ ・ふすま 張りの種別（・Ⅰ型 ・Ⅱ型） 上張り（押入等の裏側以外） ・鳥の子 ※新鳥の子又はビニル紙程度 縁仕上げ ・塗り縁 ・生地縁（素地） ・生地縁（ウレタンクリヤー塗装） 見込み寸法 ※19.5mm ・建具表による ・ ・戸ふすま 表面板の仕上 ・建具表による ・ 見込み寸法 ※30mm ・建具表による ・ ・紙張り障子 見込み寸法 ※30mm ・建具表による ・ 枠、くつずりの材料 ・建具表による ・	<5.8.1～3>	15. 自閉式上吊り引戸装置	車椅子使用者用便房スイッチの種類 ・大形押しボタンスイッチ ・非接触スイッチ 凍結防止措置 ・行う ※行わない	性能値等 ※改修標準仕様書表5.10.1 ・以下による 手動開き力（ ） 手動閉じ力（ ） 閉じ速度の調整（ ） 制動区間（ ） 開閉繰返し（ ） 耐衝撃性（ ）	<5.10.3>	16. 重量シャッター	シャッターの種類 ・管理用シャッター ・外壁用防火シャッター ・屋内用防火シャッター ・防煙シャッター 外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度（ ）Pa 開閉方式の種類 ※電動式（手動併用） ・手動式 安全装置 電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置 （設置箇所 ・建具表による ） 電動式シャッターの障害物感知装置 （設置箇所 ・建具表による ） 屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止装置 （設置箇所 ・建具表による ） 管理用シャッターのシャッターケース ※設ける ・設けない スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ※JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） ・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板鋼帯） めっきの付着量 ※Z12又はF12 ・ ガイドレール、まぐさ、雨掛りに用いる座板及び座板のカバー、雨掛りに用いるスイッチボックス類のふたの材質 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ・	<5.11.2、3>	17. 軽量シャッター	開閉方式の種類 ※手動式 ・電動式（手動併用） 耐風圧強度（ ）Pa 安全装置 電動シャッターの障害物感知装置 （設置箇所 ・建具表による ） スラットの材質の種類 ※JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） めっきの付着量（※Z06又はF06 ） ・JIS G 3322（塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯） めっきの付着量（※AZ90 ） スラットの形状 ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形	<5.12.2～4>	18. オーバーヘッドドア	セクション材料 による区分 ※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ 耐風圧 性能区分 ・50 ・75 ・100 ・125 開閉方式 による区分 ※バランス式 ・チェーン式 ・電動式 収納形式 による区分 ※スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチャル形	<5.13.2、3>	19. ガラス	ガイドレールの材料 ※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板 電動式オーバーヘッドドアの障害物感知装置 （設置箇所 ※建具表による ） ・フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類 ※建具表による ・ ・型板ガラスの厚さによる種類 ※建具表による ・網入板又は線入板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ※建具表による ・合わせガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ ※建具表による ・ 落球衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類 ・Ⅰ類 ・Ⅱ-1類 ・Ⅱ-2類 ・Ⅲ類 ・強化ガラス 形状による種類、材料板ガラスの種類による名称 ※建具表による ・ 破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類 ・Ⅰ類 ・Ⅲ類 ・熱線吸収板ガラス 板ガラスによる種類、厚さによる種類 ※建具表による ・ 性能による種類 ・1種 ・2種	<3.7><5.14.2～4>
	6. 網戸等	種類 ・防虫網 ・防鳥網 材質 ※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス（SUS316）製 線径 ※0.25mm以上 1.5mm 網目 ※16～18メッシュ 網目寸法15mm	<5.2.3、5.3.3>		10. ステンレス製建具	性能値等 耐風圧性の等級（ ） 気密性の等級（ ） 水密性の等級（ ） 外部に面する建具の種類 ・A種（建具符号：・建具表による ） ・B種（建具符号：・建具表による ） ・C種（建具符号：・建具表による ） 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（・T-1 ・T-2 ） （建具符号：・建具表による ） 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級（・H-4 ・H-5 ・H-6 ・H-7 ・H-8） （建具符号：・建具表による ） 外部に面する建具の日射熱取得性の等級 ・ 枠の見込み寸法 ・建具表による ・ 材料 ガラス ※複層ガラス ・ ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・ 形状及び仕上げ 表面色 ・標準色 ・特注色 工法 水切り板、ぜん板 ※図示による	<5.2.2><5.3.2～5>		11. 木製建具	建具材の加工、組立時の含水率 ※A種 ・ 建物内部の木製建具に使用する接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・ ・フラッシュ戸 表面材のホルムアルデヒド放散量等 ※改修標準仕様書5.7.2(2)(4)(a)による ・ 表面材の合板の種類 合板の種類 規格等 備考 ・普通合板 表面の樹種 ・ 板面の品質（※広葉樹1等 ・ 接着の程度（・1類 ・2類） ・天然木化粧合板 樹種名（ ） 接着の程度（・1類 ・2類）		<5.7.2～4>	13. 鍵	マスターキー ・製作する ・製作しない ・既存のマスターキーに合わせる その他の鍵の製作本数 ※各室3本1組（室名札付き） ・ 鍵箱 ・無し ・有り		<5.8.4>	14. 自動ドア開閉装置		戸の開閉方式 ・建具表による ・ ・引き戸用駆動装置 性能値 ※改修標準仕様書表5.9.1による（防錆 ・適用する ・適用しない） ・以下による 種類・開閉方式（ ） 耐電圧（ ） 温度上昇（ ） 耐久性（サイクル）（ ） 防錆（ ） 電源（ ） ・車椅子使用者用便房出入口引き戸用駆動装置 性能値 ※改修標準仕様書表5.9.2による（防錆 ・適用する ・適用しない） ・以下による 耐電圧（ ） 温度上昇（ ） 耐久性（サイクル）（ ） 防錆（ ） 防滴（ ） 電源（ ） ・引き戸用検出装置 性能値 ※改修標準仕様書表5.9.3による（防錆 ・適用する ・適用しない） ・以下による 耐電圧（ ） 防錆（ ） 防滴（ ） 電源（ ） 引き戸用検出装置の種類及び必要性能項目 ・建具表による ・ ・ タッチスイッチの種類 ・無線式タッチスイッチ ・光線式タッチスイッチ	<5.9.2、3>						
	7. 樹脂製建具	性能値等 耐風圧性の等級（ ） 気密性の等級（ ） 水密性の等級（ ） 外部に面する建具の種類 ・A種（建具符号：・建具表による ） ・B種（建具符号：・建具表による ） ・C種（建具符号：・建具表による ） 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（・T-1 ・T-2 ） （建具符号：・建具表による ） 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級（・H-4 ・H-5 ・H-6 ・H-7 ・H-8） （建具符号：・建具表による ） 外部に面する建具の日射熱取得性の等級 ・ 枠の見込み寸法 ・建具表による ・ 材料 ガラス ※複層ガラス ・ ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・ 形状及び仕上げ 表面色 ・標準色 ・特注色 工法 水切り板、ぜん板 ※図示による	<5.2.2><5.3.2～5>			8. 鋼製建具	性能値等 簡易気密型ドアセット ※適用する （建具符号：・建具表による ） ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性の等級（ ） （建具符号：・建具表による ） 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（ ） （建具符号：・建具表による ） 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級（ ） （建具符号：・建具表による ）			<5.2.2><5.4.2～4><表5.4.2>																
	8. 鋼製建具	性能値等 簡易気密型ドアセット ※適用する （建具符号：・建具表による ） ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性の等級（ ） （建具符号：・建具表による ） 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（ ） （建具符号：・建具表による ） 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級（ ） （建具符号：・建具表による ）	<5.2.2><5.4.2～4><表5.4.2>																							

	大 崎 市	設計年月日	調査者氏名	設計者氏名	工 事 名 称	全 業	A-04
		図 面 名 称					
		特 記 仕 様 書 (4)					

[illegible]

7

塗装改修工事

⑤ 塗装

<7.5.2～7.12.2>

塗装の種類

塗装面

工程

塗替え

新規

・合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)種類

木部屋外

・B種

・

・A種

・

木部屋内

・B種

・

・B種

・

鉄鋼面

・B種

・

・B種

・A種

亜鉛めっき鋼面(鋼製建具)

・A種

・

・B種

・

・1種 ・2種

亜鉛めっき鋼面(鋼製建具以外)

・B種

・

・B種

・

・クリヤラッカー塗り(CL)

・B種

・

・B種

・A種

種類:

・A種

種類:

・B種

・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)

・B種

・A種

・B種

・A種

・耐候性塗料塗り(DP)

鉄鋼面

・

・

上塗り等級()級

・

亜鉛めっき鋼面

・

上塗り等級()級

・

コンクリート面及び押出成形セメント板面

・

・A-1種

・

・B-1種

・

・C-1種

・

○つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-G)

コンクリート面等

・B種

・

・B種

・A種

屋内の木部

・B種

・

・A種

・

屋内の鉄鋼面

・B種

・

・B種

・A種

屋内の亜鉛めっき面

・A種

・

・A種

・B種

・合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP)

・B種

・

・B種

・A種

・合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り(EP-T)

・B種

・

・A種

・B種

・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)

・B種

・

・B種

・A種

・ステイン塗り

・

・

・ピグメントステイン塗り

・オイルステイン塗り(OS)

・

○木材保護塗料塗り(WP)

・B種

・A種

・B種

・A種

つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(コンクリート面、木部外面、せっこうボード面、せっこうボード面、その他ボード面)の塗替えの場合のしき止め

※B種又はC種の場合は、改修標準仕様書表7.9.1の工程Iの下塗りをしき止めシテとする

・

合成樹脂エマルジョンペイント塗りの塗替えの場合のしき止め

※B種又はC種の場合は、改修標準仕様書表7.10.1の工程Iの下塗りをしき止めシテとする

・

クリヤラッカー塗りA種の工程2の適用

・適用しない

・適用する(着色剤:・溶剤系着色剤・油性染料着色剤)

ウレタン樹脂ワニス塗りの工程Iの着色の適用

・適用する

・適用しない

オイルステイン塗りの工程等

・

8

耐震改修工事 共通事項

1. 適用範囲

・改修標準仕様書 8章 耐震改修工事

・改修標準仕様書において8章耐震改修工事以外の改修工事で8章を引用している部分

・

工事内容

・現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事

・鉄骨ブレースの設置工事

・柱補強工事(溶接金網巻き工法又は溶接閉鎖フープ巻き工法)

・柱補強工事(鋼板巻き工法又は帯板巻き付工法)

・連続繊維補強工事

・耐震スリット新設工事

・免震改修工事

・制振改修工事

・土工事及び地業工事

・

2. 既存部分の処理等

<8.21.2、3><8.22.2、3><8.23.2、3><8.24.4><8.25.2><8.28.2>

既存構造体の撤去

撤去範囲

・図示による()

はつり出した鉄筋及び鉄骨の処置

・図示による()

既存構造体コンクリート面の目荒らしの程度

・既存柱、梁面

・打継ぎ面等の15～30%程度に、平均深さ 2～5mm(最大7mm)程度の凹凸を、全体にわたってつける。

・

・既存壁

・打継ぎ面の10～15%程度に、平均深さ 2～5mm(最大7mm)程度の凹凸を、全体にわたってつける。

既存杭の撤去等

・撤去範囲及び撤去方法

・図示による()

・

2. 鉄筋

鉄筋の種類等

種類の記号

呼 び 径 (mm)

備 考

※SD295

※SD345

・

・

<8.2.1>

鉄線の形状等

<8.2.2>

種 類

種類の記号

鉄線の形状、綱目寸法、鉄線の径 (mm)

使用部位

・溶接金網

・鉄筋格子

<8.3.4>

鉄筋の継手の方法等

<8.3.4><8.4.2、3>

部 位

継 手 方 法

呼 び 径 (mm)

柱、梁の主筋

※ガス圧接

・機械式継手

・溶接継手

耐力壁の鉄筋

・重ね継手

・

その他の鉄筋()

・重ね継手

・

継手位置

・図示による

・

柱及び梁主筋の重ね継手の長さ

・図示による

耐力壁の重ね継手の長さ

・図示による

<8.3.4>

鉄筋の定着長さ

・図示による

・

機械式定着工法

・適用する

適用箇所

・図示による()

・

種類

・摩擦圧接接合

・螺旋グラウト固定

・嵌合グラウト固定

工法

※第三者機関の評定等を取得している工法とする

必要定着長さ

※評定等の評価内容による

補強筋形状

※評定等の評価内容による

かぶり厚さ

※評定等の評価内容による

品質確認

※評定等の評価内容による

検査

※評定等の評価内容による

<8.3.5>

最小かぶり厚さ

・図示による

・

軽量コンクリートを適用する場合

・あり 適用箇所()

・最小かぶり厚さに加える厚さ ()mm

耐久性上不利な箇所がある場合(塩害等を受けるおそれのある部分等)

・あり 適用箇所()

・最小かぶり厚さに加える厚さ ()mm

・

<8.3.8>

超音波探傷試験

※行う(全圧接部)

<8.4.2>

適用箇所

※図示による()

H12建造第1463号に適合する性能

・A級

・

種類

・ねじ式鉄筋継手

・充填方式

・無機グラウト方式

・有機グラウト方式

・

・端部ねじ加工継手

・モルタル充填式継手

・

工法

※第三者機関の評定等を取得している工法とする

鉄筋相互のあき

※評定等の評価内容による

品質の確認

※評定等の評価内容による

検査

※評定等の評価内容による

施工完了後の継手部の試験

・外観試験

試験対象

※全数

試験項目

・評定等の評価内容による

試験方法

・評定等の評価内容による

・超音波測定試験

試験対象

・抜き取りロット

・1組の作業班が1日に行った継手箇所で、最大200箇所程度にする。

試験の箇所数

1ロットに対して()箇所

・全数

8-2

コンクリート工事

1. コンクリートの種類

コンクリートの類別

<8.1.3>

※Ⅰ類 (JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート)

・Ⅱ類 (JIS A 5308に適合したコンクリート)

<8.1.3><8.1.4><8.2.5><8.9.2>

・普通コンクリート

設計基準強度 (N/mm²)

スランブ (cm)

気乾単位容積質量 (t/m³)

適用箇所

・24

・

・2.3程度

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

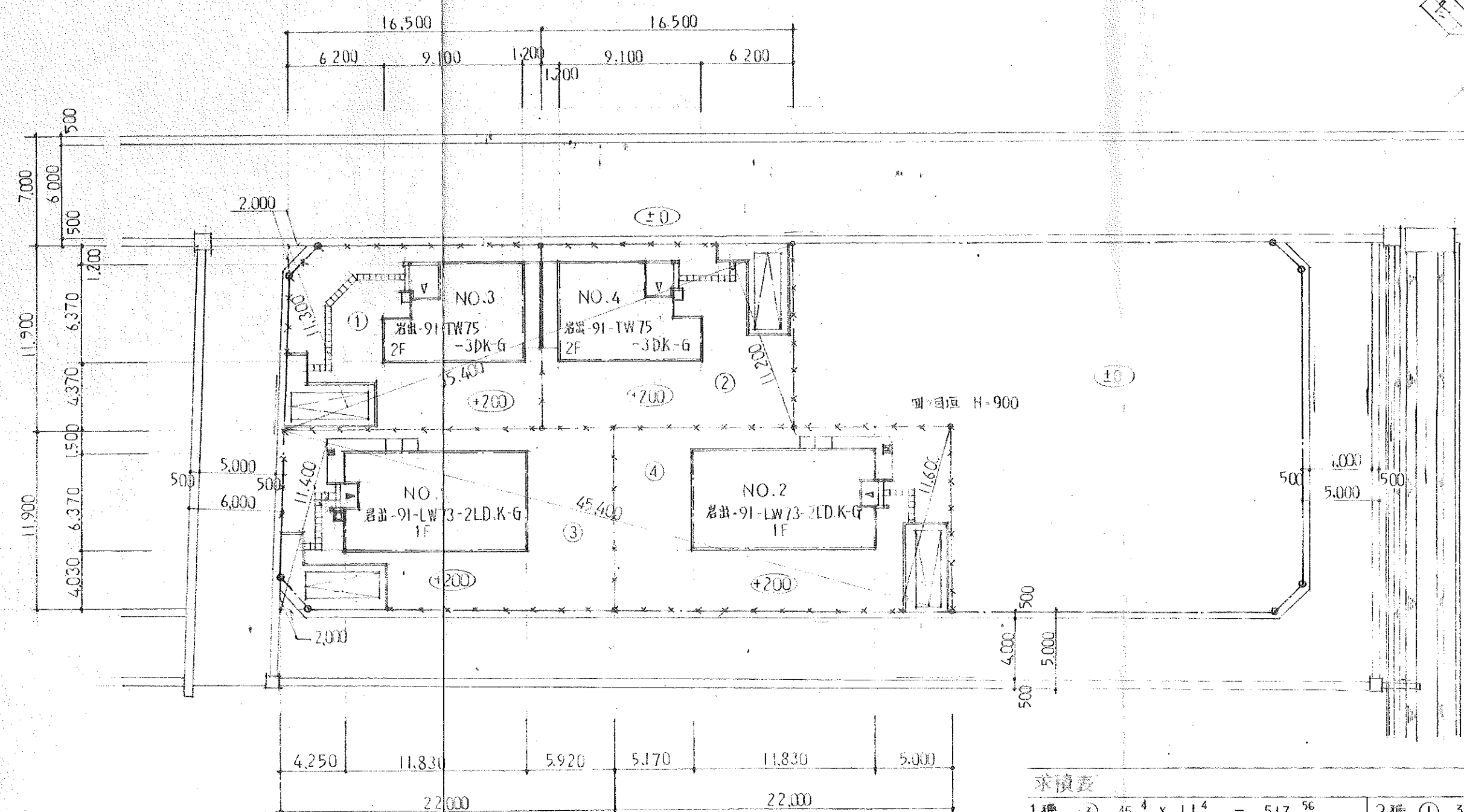
・

・

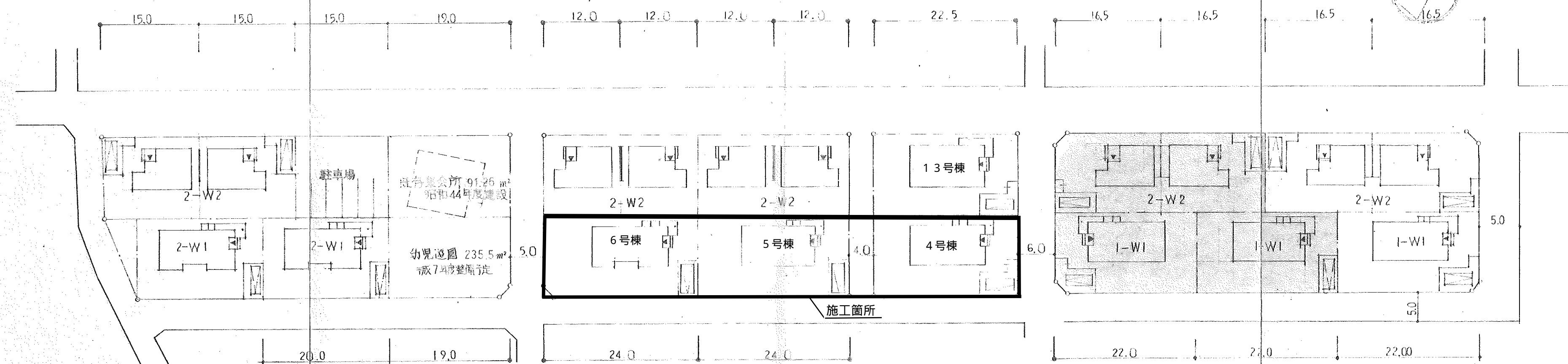
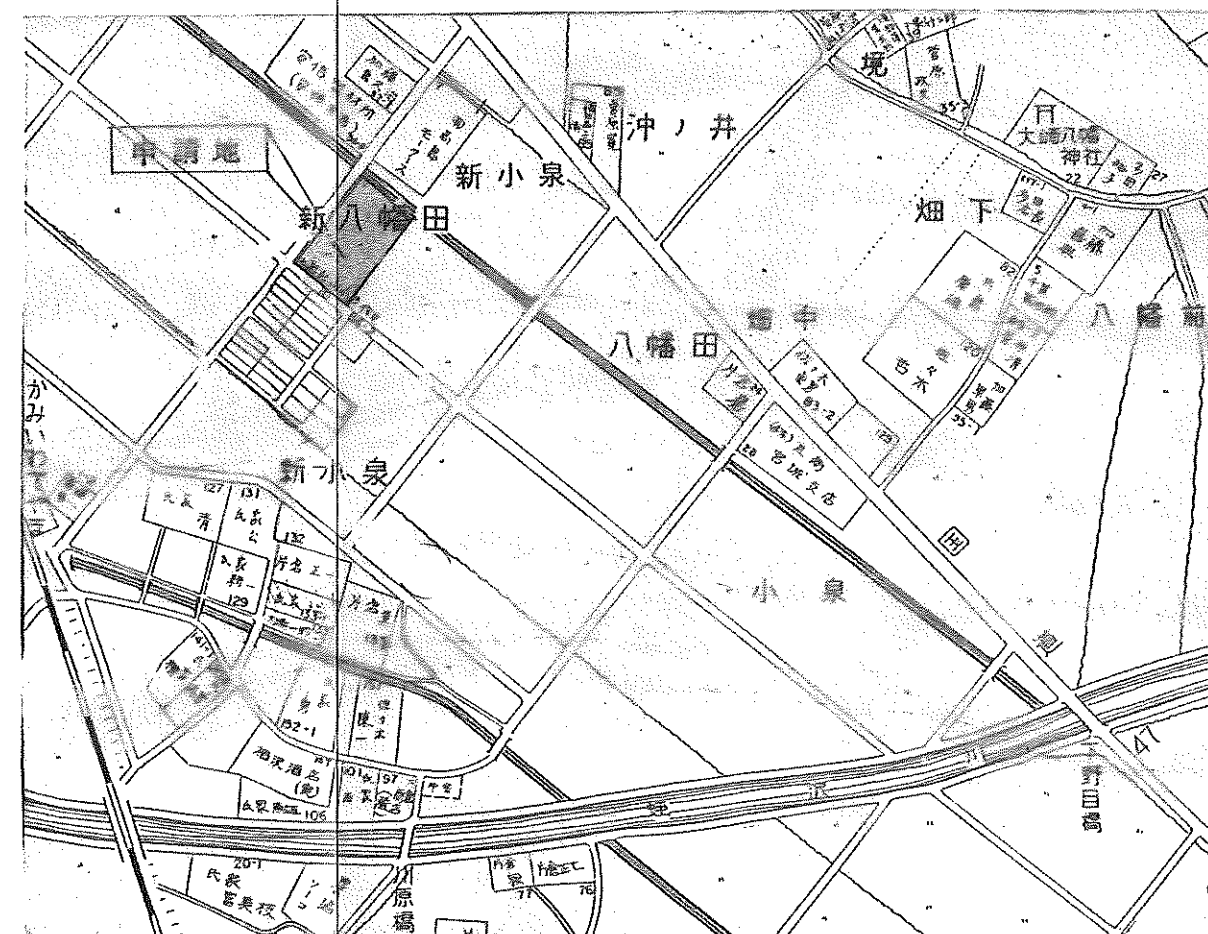
・

・

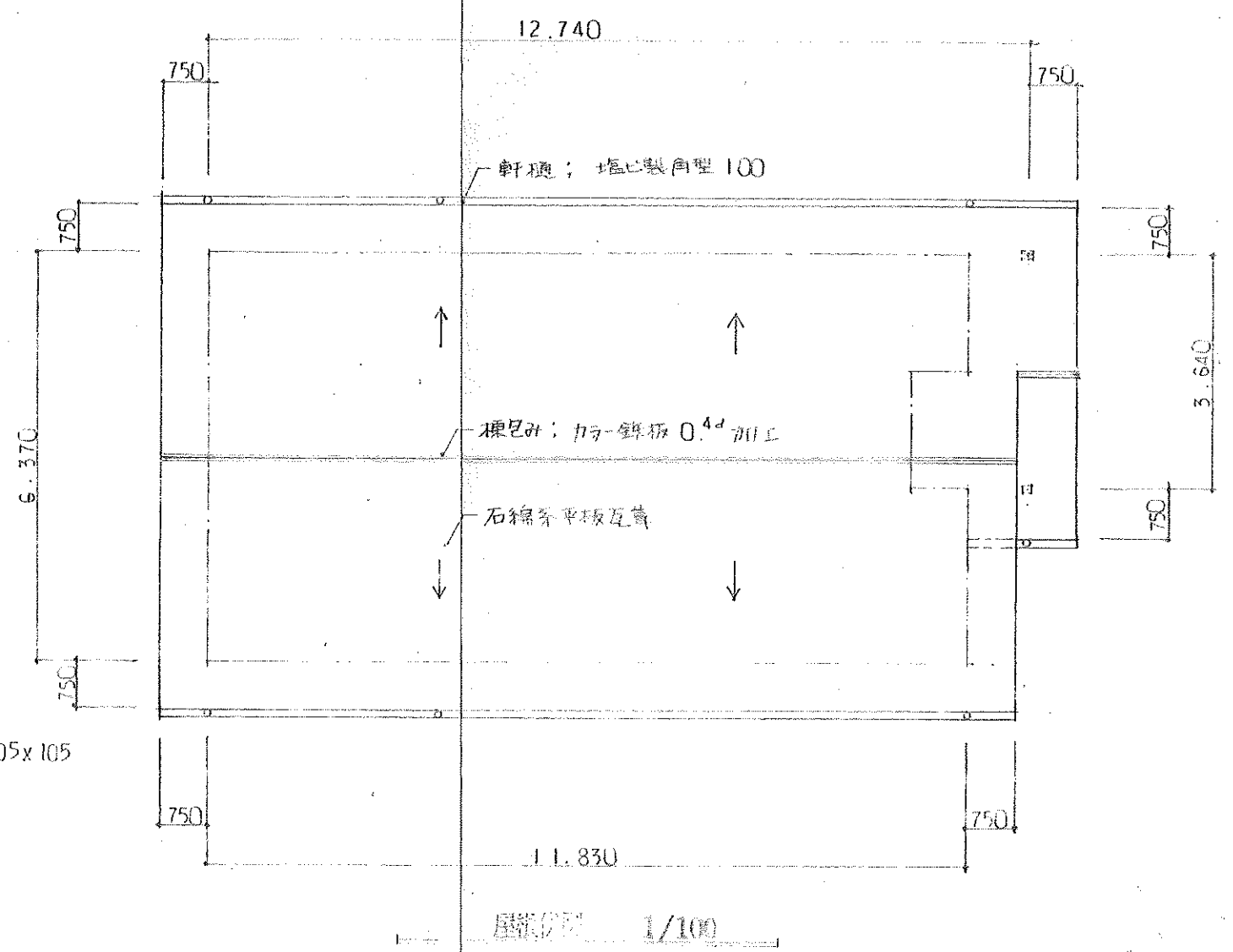
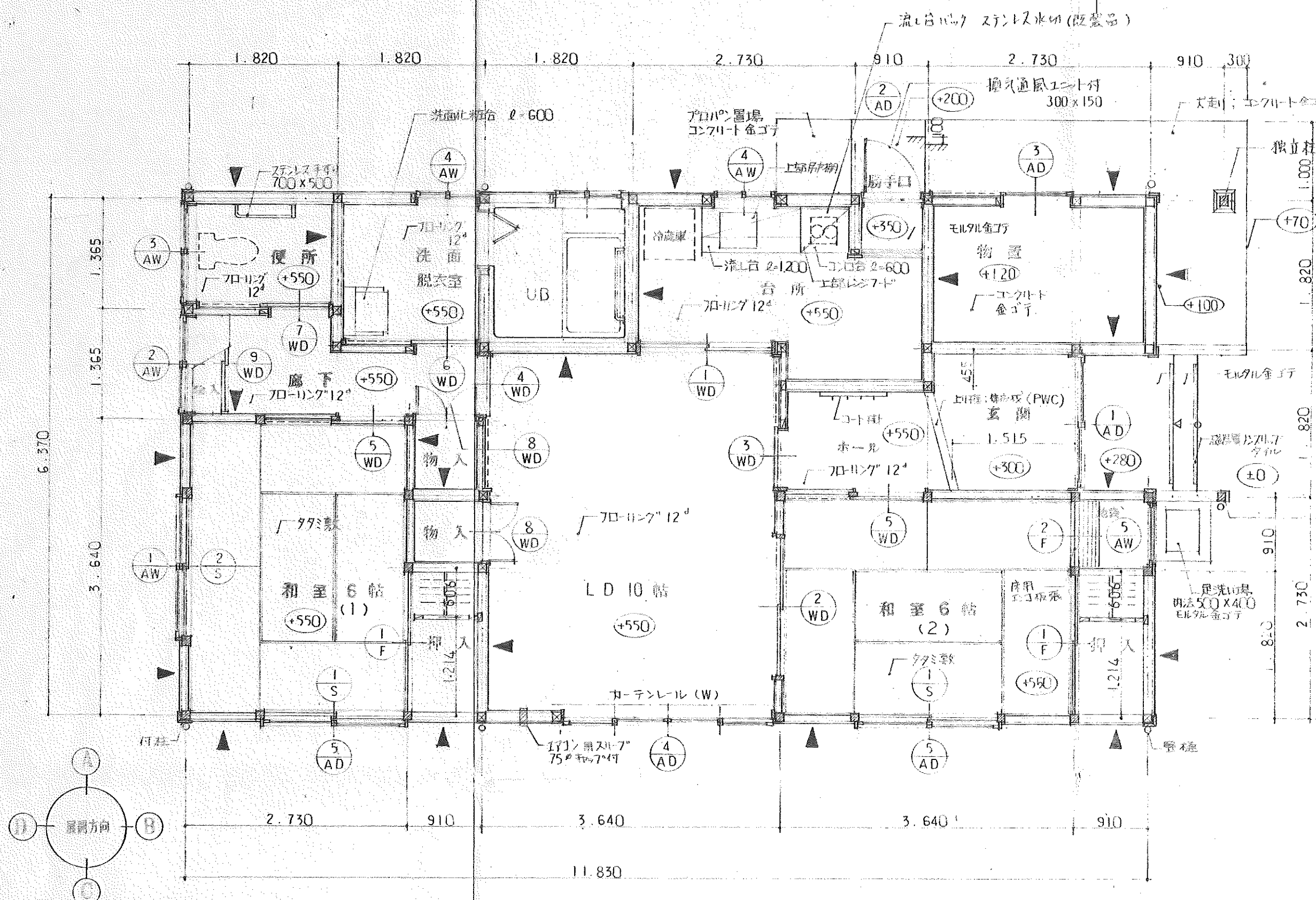
・



求積表	
1棟 ③ $45.4 \times 11.4 = 517.56$	2棟 ① $35.4 \times 11.3 = 400.02$
④ $45.4 \times 11.6 = 526.64$	② $35.4 \times 11.2 = 396.48$
TOTAL = 1,044.20	TOTAL = 796.50
$1,044.20 \times 1/2 = 522.10$	$796.5 \times 1/2 = 398.25$
$\Delta 2.0 \times 2.0 \times 1/2 = \Delta 2.0$	$\Delta 2.0 \times 2.0 \times 1/2 = \Delta 2.0$
= 520.10 ⑤	= 396.25 ⑥
	⑤ + ⑥ = 916.35



全体計画 配置図 1/500



筋かい計算式

○地震力に対して 床面積×表2の数値
 平家建の場合 $73.69 \text{ m}^2 \times 0.11 \text{ m} / \text{m} = 8.10 \text{ m}$
 ○風圧力に対して 見付面積×表3の数値
 1階裏方向(桁見付) $37.60 \times 0.5 = 18.8$
 桁方向(裏見付) $15.07 \times 0.5 = 7.53$

○必要筋かい本数 (4.5cm×9cmを使用するので、0.91m(2倍)で1.82m換算とする)

	実m数	必要本数計算式	0.91m必要本数①
1階裏方向	18.8	$1.82 \text{ m} = 10.32$	11本
桁方向	8.10	$1.82 \text{ m} = 4.45$	5本

○厚さ4.5cm×9cmの筋かいを入れた軸組の長さ (0.91mの本数) 上記①の本数
 1階裏方向 $14.5 > 11$ OK
 桁方向 $14 > 5$ OK

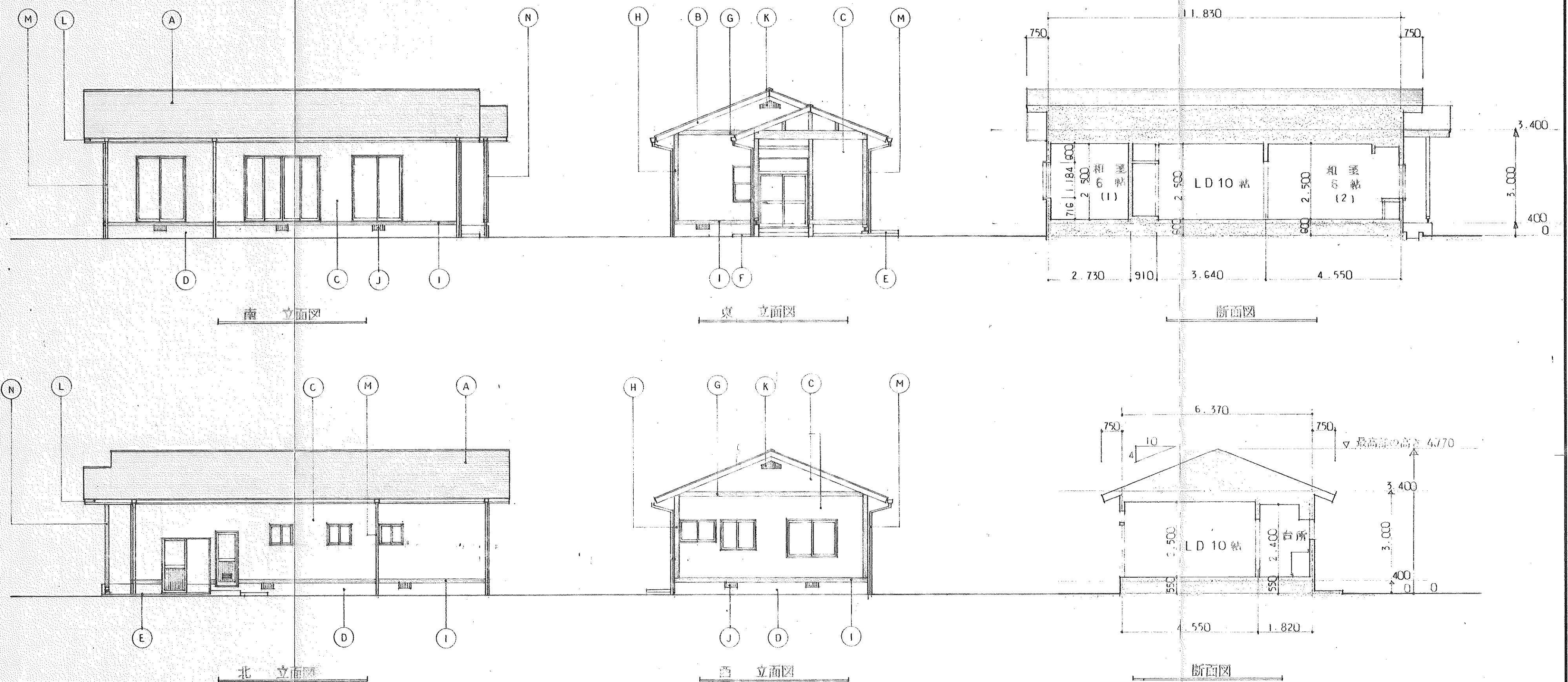
火気使用室換気計算

条件 LPG - 111111 必要換気量 = 30KQ
 $30 \times 12.9 \text{ m}^3 / \text{kg} \times 0.18 \text{ kg} / \text{h} = 69.66 \text{ m}^3 / \text{h}$
 使用換気扇: 三菱電機 株) V-256H3 換気量 510 m³/h → OK

平面図 1/50 ◀: 筋違いを示す 45×90 (シングル)

採光計算	室名	床面積	必要面積 (1/7)	建具形式	天井高さ	有効窓高	計算式	有効面積	判定
採光計算	和室6帖(1)	9.93 m ²	1.41 m ²	引違い戸	2.5 m	1.055 m 2.107 m	$1.055 \times 1.715 = 1.80$ $2.107 \times 1.715 = 3.61$	5.41 m ²	OK
	和室6帖(2)	10.76 m ²	1.53 m ²	引違い戸	2.5 m	2.107 m	2.107×1.715	3.61 m ²	OK
	LD10帖	16.56 m ²	2.36 m ²	4枚引違い戸	2.5 m	2.083 m	2.083×2.57	5.35 m ²	OK
換気計算	室名	床面積	必要面積 (1/20)	建具形式	天井高さ	有効窓高	計算式	有効面積	判定
換気計算	和室6帖(1)	9.93 m ²	0.49 m ²	引違い戸	2.5 m	1.055 m 2.107 m	$1.055 \times 0.835 = 0.88$ $2.107 \times 0.835 = 1.75$	2.63 m ²	OK
	和室6帖(2)	10.76 m ²	0.53 m ²	引違い戸	2.5 m	2.107 m	2.107×0.835	1.75 m ²	OK
	LD10帖	16.56 m ²	0.82 m ²	4枚引違い戸	2.5 m	2.083 m	2.083×1.245	2.59 m ²	OK

4,5,6号棟共通



4,5,6号棟共通

凡例

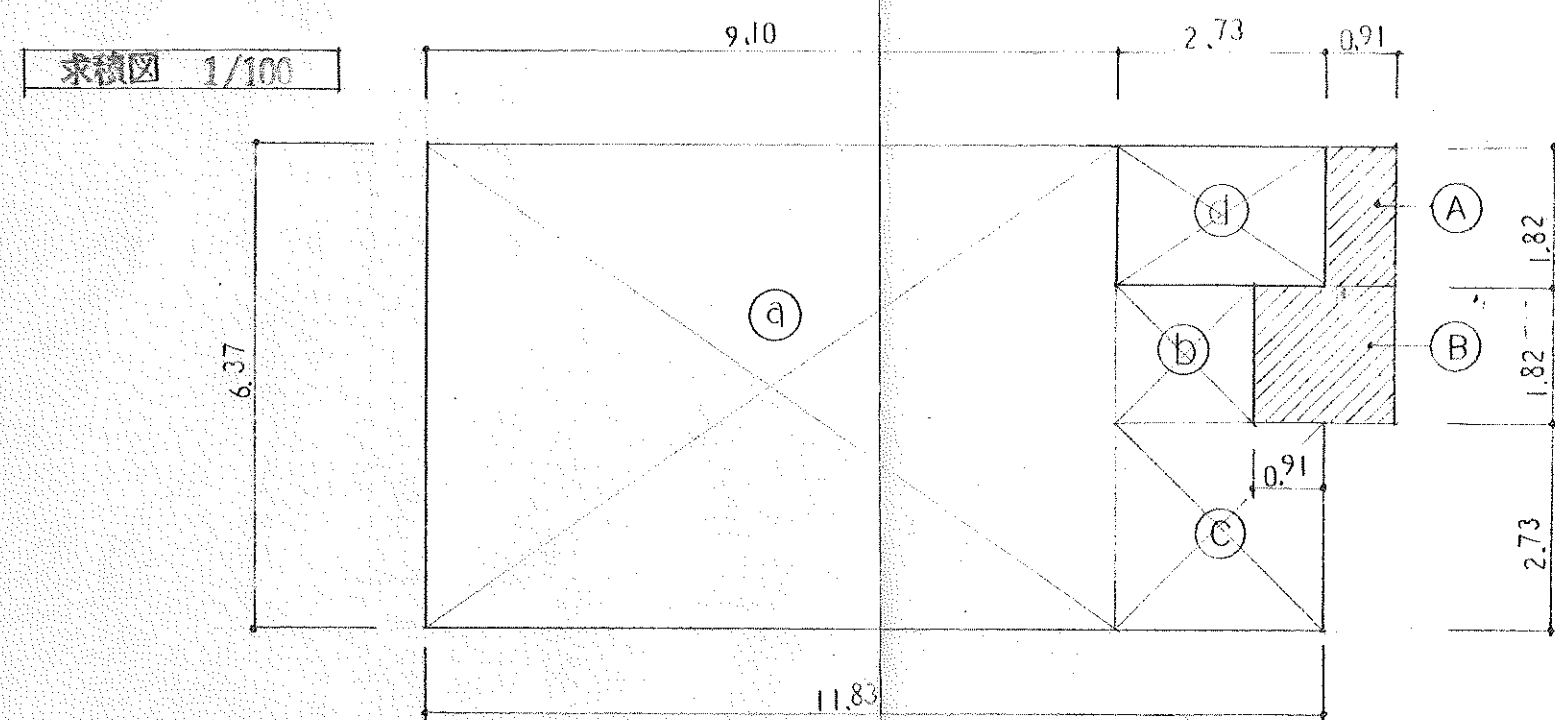
(A)	屋根 ; アスファルトフイーグ ^{22kg} 品 石棉系平板瓦葺	(H)	付 柱 ; 木 27 x 120 キシデコル塗
(B)	破 風 ; 木 24 x 210 キシデコル塗	(I)	付 土 台 ; 木 27 x 150 キシデコル塗
(C)	外 壁 ; アスファルトフェルト ^{17kg} 品 石棉硫酸加シム板 ^{12kg} アルミ ¹ 吹付	(J)	床下換気口 ; ステンレス製 アミ付 1170 x 420
(D)	根廻り ; モルタル刷毛引	(K)	垂先換気口 ; 堀ビ既製品
(E)	大 走 り ; コンクリート金ゴテ	(L)	軒 樋 ; 堀ビ製 角型 100 (既製品)
(F)	足 洗 い ; モルタル金ゴテ	(M)	竪 樋 ; 堀ビ製 角型 30 x 60 (既製品)
(G)	付 梁 ; 木 27 x 120 キシデコル塗	(N)	独 立 柱 ; 105 x 105 キシデコル塗 ステンレス足金物付

1-W1

DATA.	岩出山下野目住宅改修工事	NO.	A-13
SUBJECT.	戸建て住宅立面図 断面図	SCALE.	1/100

外部仕上表		一般事項				凡例	
屋 根	コンパネ 12 ^d アスファルトルーフィング 22 ^{kg} 貼	石綿系平板瓦葺き 雪止め付 @455	使用木材	構造材：杉・松一寄材，土台：PGスカー(含水率20%以下)，造作材：杉・上小節 又は		コーキング	
破 風	木 24 x 210 キラデコル塗			スプルス(含水率18%以下) 構造材見え掛り材は上小節材とする	C L	クリアッカー塗	
樋	軒樋：塩ビ製角型 100°(既製品)	堅樋：塩ビ製角型 30x60(既製品)，軒樋受金具 ステンレス製	防腐剤塗リ，防蟻処理	GL + 1.400 迄 防腐剤 2回塗 及び防蟻処理	OSW	オイルワックス塗	
軒 天	パルテセメント板 6.3 ^d アクリリシ吹付 一部有孔ボード 5・6号棟の各1か所補修		断 熱 材	天井：グラスウール100 ^d ，壁：グラスウール100 ^d	P B	石ゴボート	
妻先換気口	塩ビ既製品		防蟻蟻	住宅金融公庫標準仕様書，住宅金融公庫金物に準ずる	※ CL OSW は全て防カビ剤混入とする		
外 壁	アスファルトフェルト 17 ^{kg} 貼 石綿硅酸カルシウム板 12 ^d アクリリシ吹付 (胴縁 9x33 24 x 36 @455)		木部塗装	和室廻り CLウヤ消し，その他 OSW	U B	ユニットバス	
根廻り	モルタル刷毛引		コーキング	外部サッシ廻り，外壁廻り ポリウレタン系コーキング	フローリング	床用化粧合板 12 ^d	
玄関 ポーチ	モルタル金ゴテ 階段部 ハスリップタイル張り 独立柱 105 x 105 キラデコル塗 ステンレス足金物付		ビニールクロス	普及品とする	↑，←	同上，同左	
床下換気口	ステンレス製 アミ付 170 x 420		使用材料防火認定番号				
大 走 り	コンクリート金ゴテ		屋 根	石綿系平板瓦 不燃 (個) 才 1366 号	ジフトーン	準不燃 才 2016 号	
付 土 台	27 x 150 キラデコル塗 水切：カラ鉄板 0.4 ^d 加工		外 壁	石綿硅酸カルシウム板 防火 才 676 号	杉 板 PB 9 ^d	準不燃 才 2016 号	
付 柱	27 x 120 キラデコル塗		PB12 ^d 9 ^d ：	準不燃 才 2015 号	ビニールクロス	建築材料 才 0003 号	
付 梁	27 x 120 キラデコル塗 水切：カラ鉄板 0.4 ^d 加工						

内部仕上表									
室名	床		巾		壁		天井		備 考
	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上	
玄関	コンクリート	モルタル金ゴテ	木 H-60	OSW	PB 12 ^d	ビニールクロス	PB 9 ^d	ビニールクロス	上小節 90 x 150 集成材 (WPC)
ホール	コンパネ 12 ^d	フローリング 12 ^d	↑	↑	↑	↑	↑	↑	コート掛：木 W=60 L=900 OSW フック4ヶ付，腰板 W=60 OSW
LD10帖	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	付設埋：木 W=60 OSW，カーペット(W)，アイロン用2ヶ7 ⁵ d(キヤップ付)
和室6帖(1)	荒板杉 15 ^d	タタミ敷	↑	CL	↑	↑	木	杉板 PB 9 ^d	付設埋： W=36
和室6帖(2)	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	付設埋： W=36
廊下	コンパネ 12 ^d	フローリング 12 ^d	↑	OSW	↑	↑	PB 9 ^d	ビニールクロス	隠し物入，腰板 W=60 OSW
便所	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	ジフトーン 9 ^d	手すり：ステンレスパイプ 38 ^φ HL 700 x 500 (既製品) 壁付
洗面・脱衣室	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	洗面化粧台 L=600 (BL既製品)
台所	↑	↑	↑	↑	PB 12 ^d 防水 PB 12 ^d	ビニールクロス 基礎裏 100 ^φ 94 ^割	↑	↑	流し台 L=1,200 巾台 L=600 吊り棚 L=1,200 レジンド レジンド用扉棚 L=600 流し台7本切
浴室	ユニットバス								ユニットバス 1616 タイプ，隠し手すり付
押入・物入	—	ラワン合板 5.5 ^d	—	雑布張り	—	ラワン合板 3.0 ^d	—	ラワン合板 3 ^d	押入：巾棚，マフ，掛付，ハンガーラック ステンレス32 ^φ 金付，物入：巾棚天板付
物置	—	コンクリート金ゴテ	—	基礎表板	—	ラワン合板 3.0 ^d	—	ラワン合板 3 ^d	—



求積表			収納スペース容積率 (和室6帖(1),(2)+台所の容積率9%以上)		
①	9.10 x 6.37 = 57.967	住居床面積 ①+②+③ = 68.7328 M ² — ①	和室6帖(1)押入	1.82 x 0.91 x 2.3 = 3.809	
②	1.82 x 1.82 = 3.3124	物置床面積 4.9686 M ² — ②	和室6帖(2)押入	1.82 x 0.91 x 2.3 = 3.809	
③	2.73 x 2.73 = 7.4529	床下床面積 ①+② = 73.69 M ² — ③		0.91 x 0.6 x 0.6 = 0.327	
④	2.73 x 1.82 = 4.9686	建築面積 ③+④+⑤ = 78.65 M ²	LD10帖物入	0.91 x 0.91 x 2.5 = 2.070	
⑤	0.91 x 1.82 = 1.6562		廊下物入	0.91 x 0.91 x 2.5 = 2.070	
⑥	1.82 x 1.82 = 3.3124		物入	1.365 x 0.45 x 0.8 = 0.491	
			合計	12.578 M ³	
			収納率 { (2.73 x 3.64 x 2.5) + (3.64 x 1.82 x 2.5) + (3.64 x 4.55 x 2.5) } 0.09 = 9.62 M ³		
			∴ 9.62 M ³ ≤ 12.57 M ³ (11.74%)		

4,5,6号棟共通

DATA.	／／／	TITLE.	岩出山下野目住宅改修工事	NO.	
		SUBJECT.	戸建て住宅仕上表 求積図	SCALE.	1/100.
					A-14

名称	アルミ製玄関引違い ランマ付	記号	寸法	数量	名称	アルミ製勝手口片開ドア	記号	寸法	数量	名称	アルミ製片引戸	記号	寸法	数量	名称	アルミ製4枚引戸ランマ付	記号	寸法	数量
		AD-1	1,674 2,184	1 1			AD-2	730 1,812	1 1			AD-3	1,659 1,788	1 1			AD-4	2,574 2,183	1 1
図																			
見込	70					45					50					73			
硝子	型4°					ドア：型4° ランマ：7ロート3°					型4°					引戸：7ロート5° ランマ：7ロート3°			
金物	引手 引戸用シリンダ錠・サムターン 郵便受・アルミ化粧額縁付					丁番 握玉錠・アムストリパー 暗アルミパネル					引手付錠錠、暗アルミパネル メーカ付属金物一式					引手 クレセント・メーカ付属金物一式			
材料	アルミブロンズ					←					←					←			
備考						外付タイフ、換気通風ユニット付					外付タイフ					半外付タイフ 網戸付 換気錠付			
名称	アルミ製引違い ランマ付	記号	寸法	数量			記号	寸法	数量	名称	アルミ製引違い窓	記号	寸法	数量	名称	アルミ製上げ下げ窓	記号	寸法	数量
		AD-5	1,722 2,207	2 2								AW-1	1,722 1,055	1 1			AW-5	746 1,139	1 1
図																			
見込	73										55					65			
硝子	引戸：7ロート5° ランマ：7ロート3°										AW-1：7ロート3° その他 型4°					型4°			
金物	引手、クレセント メーカ付属金物一式										クレセント メーカ付属金物一式					上げ下げレバー錠			
材料	アルミブロンズ										アルミブロンズ					←			
備考	外付タイフ 網戸付 換気錠付										AW-1：外付タイフ その他 半外付タイフ 網戸付					半外付タイフ、網戸付			
名称	木製引違い戸	記号	寸法	数量	名称	木製引違い戸	記号	寸法	数量	名称	木製片引戸	記号	寸法	数量	名称	木製片引フラッシュ戸	記号	寸法	数量
		WD-1	1,620 1,900	1 1			WD-2	1,715 1,900	1 1			WD-3	850 1,900	1 1			WD-4	850 1,900	1 1
図																			
見込	33°					←					←					←			
硝子	型4°					←					型4°					←			
金物	引手 M型フラットレール2連用・フラットレール用戸車					引手 数屋サマリ					引手 M型フラットレール・フラットレール用戸車					←			
材料	スプルース CL 1/4ヤ消し					片面 不燃合板 片面 新鳥の子(防火板下地)					スプルース CL 1/4ヤ消し					両面TPH合板			
備考						框：スプルースCL 1/4ヤ消し													

4,5,6号棟共通

1-W1

DATA.	/ /	TITLE.	岩出山下野目住宅改修工事	NO.	
		SUBJECT.	戸建て住宅建具表	SCALE.	1/100
					A-15

屋 根	既存	石綿系平板瓦葺き 雪止め付@455
	改修	カバー工法 カラーガルバリウム鋼板 t =0.35mm 雪止め既存撤去, 新規取付
	既存	アスファルトルーフィング22kg品 カラー鉄板0.35d平葺
	改修	素地ごしらえ工程C種 SOP塗

塗 装	外壁塗装	既存	アクリルリシン吹付
		改修	外装薄塗材E ローラー塗
	軒天塗装	既存	アクリルリシン吹付
		改修	外装薄塗材E ローラー塗
	破風塗装	既存	キシラデコール塗
		改修	木材保護塗料塗り
	付土台塗装	既存	キシラデコール塗
		改修	木材保護塗料塗り
	付柱塗装	既存	キシラデコール塗
		改修	木材保護塗料塗り
	付梁塗装	既存	キシラデコール塗
		改修	木材保護塗料塗り
	独立柱塗装	既存	キシラデコール塗
		改修	木材保護塗料塗り
	雨樋	既存	軒樋, 豎樋, 臭突 : 塩ビ製 樋受金具 : ステンレス製
		改修	ポリウレタン系塗
	水切塗装	既存	カラー鉄板
		改修	ポリウレタン系塗